

**東芝メモリ株式会社 四日市工場 2019年度安全健康基本方針**

当社は、「最先端メモリ技術・サービスを開拓し続けることで、人々の暮らしを豊かにし、社会の可能性を広げます」という経営理念に基づき、創造的な技術を用いて、持続的に価値追求・成長を続ける企業を目指します。

また、当社にかかわる全ての事業において、多様な立場で働く人が「安全で快適な職場環境づくりと心身の健康保持増進活動」を継続的に推進し、労働安全衛生パフォーマンスの向上ならびに改善に努めます。

- 1.安全と健康が経営上の最重要課題であることを明言するとともに、組織が安全で健康的な職場を提供するため、トップマネジメント（経営層）が主導し、労働に関係する負傷、疾病の防止および組織の安全健康文化を形成、促進します。
- 2.順守しなければならない法的要求事項およびその他の要求事項を順守します。
- 3.労働安全衛生マネジメントシステムを通じ、リスクを管理し、労働安全衛生パフォーマンスを積極的に向上させるため、次の事項について、目標・推進計画を定め実行します。
  - 1)労働災害や職業性疾病の撲滅ならびにこれらを誘発する危険源の特定および労働安全衛生リスクの評価、リスク低減を図るための管理策を決定し、その有効性を確認
    - ①作業手順間の付随作業（清掃・運搬・片付作業等）に潜在するリスク
    - ②メンテナンス作業（特に経験の浅い作業者が従事する作業）の残存リスク
    - ③リスク評価レベルⅢ以上の再評価とその結果に基づく新たな潜在リスク
    - ④発生事象（インシデント）の再発防止策の有効性の検証
  - 2)従業員への安全・健康意識向上施策による組織の活力・労働生産性の向上
  - 3)健康経営の実践による健康状況の把握、問題の早期発見、対策推進による従業員の心身の健康保持増進活動の推進
- 4.当社にかかわる全ての事業において、働く人およびその代表と安全健康への取り組みを適切に協議し、参加を支援します。
- 5.利害関係者のニーズおよび期待を重視した双方向のコミュニケーションを通じ、社会の安全健康管理水準の向上に貢献します。

2019年4月1日

東芝メモリ株式会社 常務執行役員 四日市工場長

松下智治